

CODE :  
TYPE :

# 《警告表示》

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これらを守らないと事故につながったりケガをしたり製品が壊れるなどの恐れがあります。

- 警告**

この表示の欄は取扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が懸念される」内容です。
- 注意**

この表示の欄は取扱いを誤った場合、使用者が「傷害を負ったり、物的損害を負う可能性が想定される」内容です。

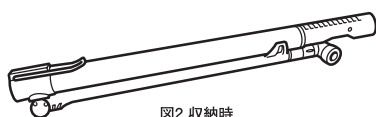
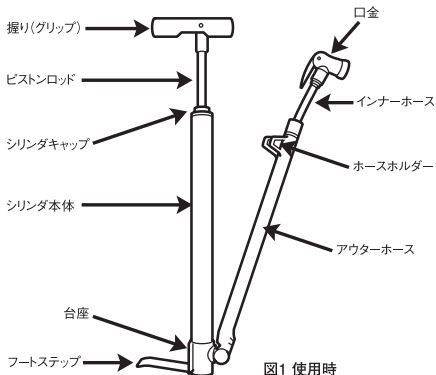
- 警告**

お客様の安全のために、ご使用になる前は必ずこの説明書をお読みください。  
読まれた後は大切に保管してください。
- 警告**

ポンプの改造、分解、ペイントは絶対にしないでください。ポンプに穴をあけたり、削ったり、改造したりすると非常に危険です。また塗料や熱の影響により材質が侵され性能が低下するおそれがありますので、絶対にしないでください。
- 警告**

◆使用前に次の点検をしてください。  
1、握り(グリップ)やフートステップに亀裂や変形がないこと。  
2、シリンダ本体とシリンダキャップとの固定が確実で、緩みがないこと。  
3、シリンダ本体と台座の固定が確実で、緩みがないこと。  
◆破損、変形や緩みがある状態では使用しないでください。  
◆シリンダキャップや握り(グリップ)を外したり、分解しないでください。  
◆ご使用は平らな場所で行ってください。  
◆操作力が大きくなってもタイヤに空気が入らない場合、ポンプ内が高圧になって破裂等の危険があるので、無理に空気を入れないでください。  
このような場合は、自転車店、購入店、製造業者などの相談窓口にご相談してください。  
◆直射日光が当たる場所に放置したり、雨ざらしにしないでください。  
◆故障時には、タイヤに過大な空気圧が充填されることもあるので、タイヤの空気圧についてはタイヤを押して再確認してください。  
◆小さな部品がございますので、おさまが誤って飲み込まないようにご注意ください。

## 《フレームポンプ取扱説明書》

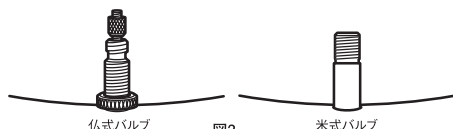


### 付属部品



## 【1】バルブの種類

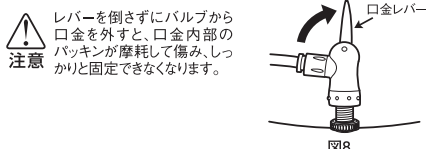
このポンプは以下のバルブに対応できます。



## 【2】空気の入れ方

### ◆仏式バルブのタイヤ・チューブに空気を入れる場合

- 1 タイヤ・チューブの仏式バルブの前準備(コア引き上げネジを2〜3回転ゆるめて、先端を一瞬押し、わずかに空気を抜く)をしておきます。(図5)
- 2 口金キャップを外し、中のパッキンと樹脂パーツを[図6]の通りの向きにして口金に入れた後、口金キャップを閉めてください。(図6)
- 3 口金をタイヤ・チューブのバルブにしっかりと差し込みます。(図7)
- 4 口金レバーを立てます。(図8)  
(口金の内部のパーツが縮まります)
- 5 口金とバルブがしっかりと接続されていることを確認し、空気を入れます。
- 6 空気を入れ終わったら、口金レバーを倒します。(図7)  
(内部のパッキンが開きます)
- 7 バルブから口金を外します。

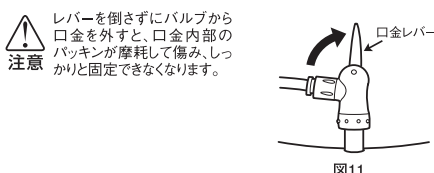


## 【3】自転車に取り付ける場合

- 1 フレーム取り付けアダプターにある隙間に固定マジックテープを通します。  
(固定マジックテープの裏面が上になります)
- 2 ポンプのシリンダ本体部をフレーム取り付けアダプターに取り付けます。
- 3 シリンダ本体を巻くようにして、固定マジックテープのバックルに通します。

### ◆米式バルブのタイヤ・チューブに空気を入れる場合

- 1 口金キャップを外し、中のパッキンと樹脂パーツを[図9]の通りの向きにして口金に入れた後、口金キャップを閉めてください。(図9)
- 2 口金をタイヤ・チューブのバルブにしっかりと差し込みます。(図10)
- 3 口金レバーを立てます。(図11)  
(口金の内部のパーツが縮まります)
- 4 口金とバルブがしっかりと接続されていることを確認し、空気を入れます。
- 5 空気を入れ終わったら、口金レバーを倒します。(図10)  
(内部のパッキンが開きます)
- 6 バルブから口金を外します。



**注意**

レバーを倒さずにバルブから口金を外すと、口金内部のパッキンが摩耗して傷み、しっかりと固定できなくなります。

- 4 ホースホルダーとシリンダ本体を固定し、固定マジックテープでアウターホースと一緒に固定します。
- 5 付属の六角ボルトを使用し、下パイプにあるボルト台座に取り付けます。

**警告**

自転車に取り付けて走行する場合、乗車前にポンプと固定アダプター及び固定アダプターとボルト台座がしっかりと固定されているか必ず点検してください。走行中に外れると事故を起こす恐れがあります。

紙 : 台紙

販売元 **ブリヂストンサイクル株式会社**

〒362-8520 埼玉県上尾市中裏3丁目1-1  
お客様相談室 受付時間: 9:00~12:00/13:00~17:00  
(土・日・祝日及び弊社指定休日は休み)  
フリーダイヤル: ☎0120-72-1911  
(携帯電話・国際電話・インターネット電話  
でのご利用はできません)

made in TAIWAN

A400400BL